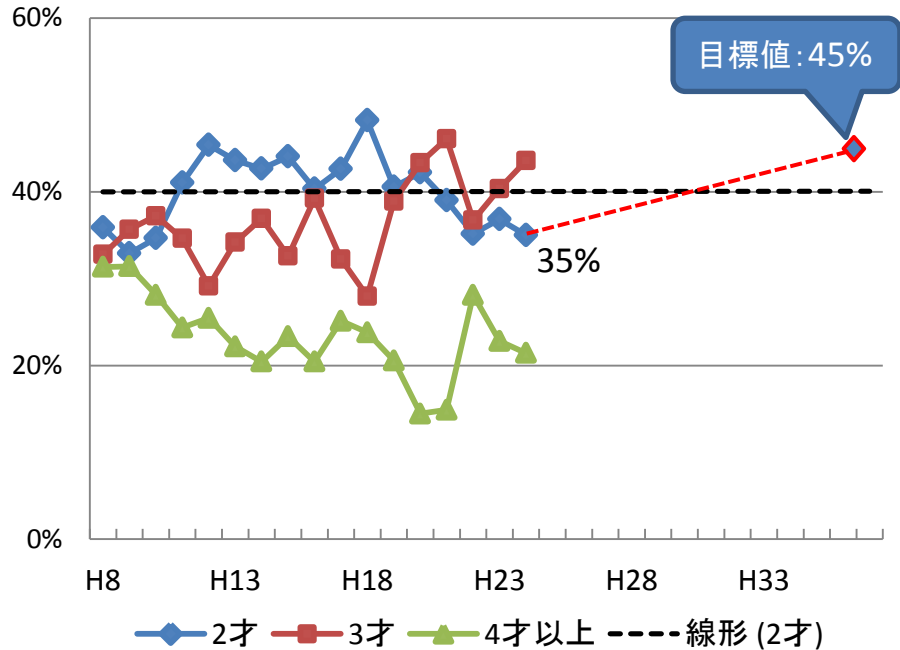
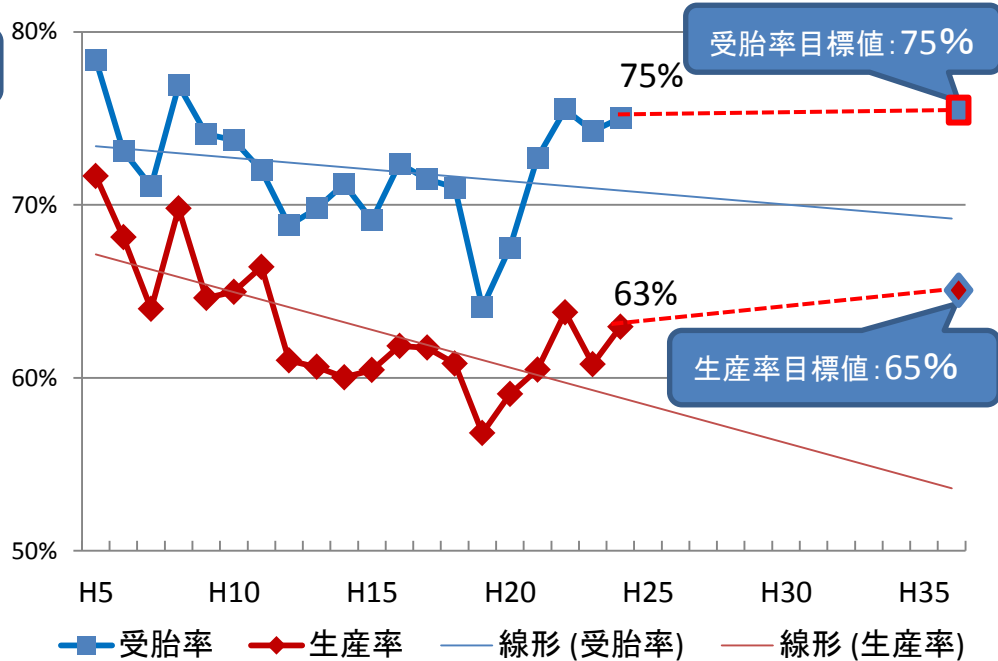


- 「繁殖開始年齢」については、2才の割合を増加させる方向（早期化）で目標を設定しているが、その徒な早期化は事故率を高めるなどといった指摘がなされている。一方で、早熟性といった面での家畜の能力の改善の余地はあるものと考えられるところ。このため、現在の項目については存置するものとするが、「繁殖を開始する際は、雌馬の単房等による適切な飼養管理や発育状況に配慮する」といった留意点を追記するとともに、目標値についても、最近のトレンド等も踏まえた設定としたところ。
- 「受胎率」の目標値については、現状値維持。「生産率」の目標値については、飼養管理の改善の必要性も鑑み、現状値から若干高い水準を目標として設定。

### 繁殖開始年齢割合の推移



### 受胎率及び生産率の推移



### 流死産率の推移

種付け年	H5	H10	H15	H20	H24
流死産率	7.7%	11.2%	7.2%	11.4%	18.5%

資料：(公社)日本馬事協会繁殖成績報告書より算出した。  
ばんえい引退馬は除いた。